



あしたの賃貸  
プロジェクト

# あしたの賃貸プロジェクト 第2回シンポジウム開催

2021 **12/3** 金 13:00-17:00

## ～その人らしく「暮らせる」賃貸住宅の可能性を広げる～

自分らしく暮らせる住まいを実現させるため、賃貸住宅に何ができるのか、どうサポートしていくのかを考えて行動する「あしたの賃貸プロジェクト」の第2回シンポジウムを開催いたします。

今回は、賃貸住宅の社会における役割を見つめ直し、「賃貸住宅の可能性を広げる」をテーマに、賃貸住宅やまちづくりの分野でご活躍されているリーダーの方々からご講演をいただきます。賃貸住宅オーナー、事業者、研究者など賃貸住宅に関わる多くの方々とともに考え、行動してまいります。

※住宅改良開発公社は、1955年に設立され、住宅金融支援機構や沖縄振興開発金融公庫、民間金融機関による賃貸住宅融資に係る保証、賃貸住宅の管理・経営、住まいやまちに関する調査研究事業を行っております。

**参加無料**  
**事前登録制**

開催日時  
開催方法  
主催  
後援

2021年12月3日(金) 13:00 - 17:00  
YouTubeによるライブ配信  
一般財団法人 住宅改良開発公社  
独立行政法人 住宅金融支援機構  
一般社団法人 全国住宅供給公社等連合会

**ご参加には事前申込が必要です。**

最新情報はWebサイトをご覧ください。

<https://ashitanochintaipj.com/symposium/>



- 事前にご登録をお願いいたします。
- お申し込み締め切りは12月3日(金)0:00までとなります。
- 参加費は無料ですが、視聴にかかるデータ通信料は自己負担となります。
- お申し込み後の流れ:後日、ご登録いただいたメールアドレスに視聴用URLをお送りいたします。開始時間の10分前を目途にURLにアクセスをお願いします。

お問い合わせ先

一般財団法人 住宅改良開発公社 住まい・まち研究所

TEL:03-3237-7411(代) E-MAIL:hid\_001@kairyokousya.or.jp



一般財団法人 **住宅改良開発公社**



プログラム

～その人らしく「暮らせる」賃貸住宅の可能性を広げる～

13:00▶13:05

主催者挨拶



生亀 孝志

一般財団法人住宅改良開発公社 理事長

賃貸住宅の可能性を広げる「あしたの賃貸プロジェクト」

社会における賃貸住宅の役割を深く見つめなおし、賃貸住宅のオーナー、入居者、事業者の方々にとっての「賃貸住宅の可能性」をみなさまとともに考えていきたい。

講演者プロフィール /

1975年建設省(現国土交通省)入省。国土交通政策研究所所長、(一社)日本建設業連合会専務理事を務めた後、2018年7月住宅改良開発公社理事長に就任。

13:05▶13:55

講演



大月 敏雄

東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻 教授

社会の潤滑油としての賃貸住宅

賃貸住宅は、単に住宅すぐ上での「郊外庭付き一戸建て住宅」という「上がり」に到達するまでの、人生前半部分の仮の住まいという位置づけ以上の価値を、今の社会で発揮しつつある。かつてよりずいぶん幅の広い人生のシナリオが展開する中で、効果的に賃貸住宅を利用することで、より豊かな生活を実現できる可能性が見えてきた。

講演者プロフィール /

1967年福岡県生まれ。東京大学工学部建築学科卒業、同大学院博士課程単位取得退学。博士(工学)。横浜国立大学工学部建設学専攻助手、東京理科大学工学部建築学専攻准教授を経て現職。専門は建築計画、住宅地計画、住宅政策。著書に『近居少子高齢社会の住まい・地域再生にどう活かすか』(編著、学芸出版社)、『集合住宅の時間』(王国社)、『町を住みこなす一超高齢社会の居場所づくり』(岩波書店)、『住む』ための事典』(編著、彰国社)ほか。

13:55▶14:15

賃貸レポート



松本 真理

一般財団法人住宅改良開発公社 住まい・まち研究所 所長

あしたの賃貸アンケートからお引越しの理由と選ばれる賃貸を探る

あなたは、何回お引越しを経験しましたか?納得のいく住まいを見つけることができましたか?アンケート結果より、わがままなニーズにも、切実なニーズにも応えることができる賃貸住宅の方向性を探る。

講演者プロフィール /

千葉大学工学部建築学科卒業、法政大学大学院経営学専攻修士課程修了。住宅金融支援機構で主に賃貸住宅融資を担当。2018年より、住宅改良開発公社住まい・まち研究所長。一級建築士、経営学修士、カラーコーディネーター一級。

14:20▶16:20

事例講演



山本 遼

株式会社 R65 代表取締役

いくつになっても暮らし続けられる賃貸住宅

孤独死や認知症、家賃の不払いに対する不安から、賃貸住宅を借りにくい高齢者。一方で、現在は400万人の方が賃貸住宅を借りています。賃貸住宅の品質が上がり、終のすみかという見方が強くなった賃貸住宅。いくつになっても賃貸住宅に住み続けられるために、私たちができることについてお話しします。

講演者プロフィール /

前職にて全社トップの営業成績を残し、東京拠点の立ち上げに参画。その後、2016年に株式会社R65(R65不動産)を設立。65歳以上のお部屋探し専門の不動産会社として、年間300件以上の物件仲介を支援。「高齢者賃貸」に関する講演は通算で30回以上。「ガイアの夜明け」ほか多数のメディアに出演。

15:00▶15:40

田中 陽三

大阪府住宅供給公社 経営管理部住宅経営課 団地イノベーショングループ長

響きあうダンチ・ライフ ～茶山台団地再生プロジェクト～

泉北ニュータウンの茶山台団地では、公社が民間事業者などとのパートナーシップを深めながら、住民との共創、賃貸住宅の「非常識」への挑戦、積極的な情報発信といったアプローチで団地再生事業を進め、大きな成果につなげている。「響きあうダンチ・ライフ」のコンセプトの下、ハードとソフトの両面から進めるさまざまな再生に向けた取り組みを紹介する。

講演者プロフィール /

まちづくりの仕事がしたくて、2009年大阪府住宅供給公社に入社。住宅管理業務などをを経て、団地再生業務を丸5年にわたって担当。茶山台団地で「ニコイチ」や「茶山台としょかん」、「やまわけキッチン」などのプランニングに携わる。その後2年間広報業務を担当したあと、今年4月より再び団地再生担当に復帰、現在に至る。

15:40▶16:20

福田 和則

株式会社エンジョイワークス 代表取締役

賃貸住宅のオーナーと住人の新しい関係性からまちづくりへ

良い賃貸住宅の定義は、オーナーと住人で異なることはまあある。供給されたもののなかから、住人が選ぶという一方通行の流れもこれまでの常識だ。この両者の関係性を見つめ直すことは、より良い賃貸住宅、より良いコミュニティづくり、より良いまちづくりに繋がり、「その人らしく暮らせる」ことを実現する近道かもしれない。

講演者プロフィール /

1974年生まれ。外資系金融機関勤務を経て、2007年エンジョイワークスを設立。鎌倉を拠点に約10年間の様々なボトムアップ型まちづくりの実証実験を経て、空き家再生まちづくり“参加型”クラウドファンディング「ハロー！RENOVATION」を運営。

16:30▶17:00

質疑応答

視聴者のみなさまからお寄せいただいた質問に、講演者が生で回答させていただきます。